2019(令和元)年12月15日 第19号

たかさき里見人権プラザだより

予告 文化活動発表会を開催します!

展示の部

令和2年1月31日(金)～2月2日(日)

展示会場:たかさき里見人権プラザ 2階
(榛名・倉渕保健センター)

開場時間: 9:00～16:00

内容: 水墨画、書道、生け花、水彩画、手芸作品の展示

発表の部 特別ゲスト
声楽家 佐々木千鶴子さん

発表の部

令和2年2月2日(日)

発表会場: 榛名文化会館(エコール)
大ホール

開催時間:13:00～16:00(予定)

内容: フラダンス、エアロビクス、リズム体操
社交ダンス、健康体操、カラオケの発表

群馬にゆかりのある作詞・作曲家の
なつかしの童謡コンサート

お待ちしてます

差別落書きは人権侵害となる卑劣な行為です

差別落書きは人の心を深く傷つけ、偏見や差別を助長するなど、決して許されるものではありません。

人を差別したり、ひぼう、中傷する落書きは重大な人権侵害です。

差別のない明るい社会をみんなでつくりましょう。

差別落書きを発見したら、すぐ連絡を!

差別落書きと思われる書き込みを発見したら、すぐに高崎市人権男女共同参画課か、たかさき里見人権プラザへ連絡してください。

連絡先:高崎市 市民部 人権男女共同参画課 電話027-321-1228
たかさき里見人権プラザ 電話027-340-5131

また、SNSやインターネット上では、匿名での書き込みが可能なことから、ひぼう、中傷などの心ない書き込みがされています。

根拠のない情報を簡単に信用し、さらに情報を拡散する行為によって、何の罪もない人が犯人扱いされ、見ず知らずの人たちからインターネット上で攻撃される事例も起こっています。**SNSやインターネットの情報をそのまま信じるのは危険です!**

自分が同じようなことを書かれる立場だったらどう思うか、冷静に考えましょう。

ハンセン病の元患者さんや、その家族への差別や偏見をなくしましょう。

ハンセン病は「らい菌」による慢性の感染症で、**非常にうつりにくい病気**です。
遺伝病ではなく、現在では早期発見と適切な治療で**後遺症を残さず治すことができます。**
国の誤った政策と法律により、元患者さんたちは家族から引き離され、強制的に療養所に隔離されるとともに、家族もまた、周りの人たちの強い差別と偏見にさらされました。
根強く残る差別意識と偏見から、亡くなってもなお本名を名乗れない、遺骨となっても故郷に戻れない人が大勢います。

ハンセン病を正しく理解し、差別や偏見をなくしましょう。

人権プラザ（隣保館）とは？

人権プラザ（隣保館）は、地域社会全体の中で福祉の向上や、人権啓発と住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして設置・運営されています。
人権課題解決のための事業を総合的に行うとともに、生活上の各種相談も行っています。

日常生活での困りごとや、悩み事の相談をお受けしています。
話をすることで、少しだけ問題が整理されることも あるかもしれません。
どうしたらいいか、いっしょに考えていきましょう。
ひとりで悩まず、まずは相談してみてください。

受付時間：9:00～16:00（土日・祝日・年末年始を除く）
※面接相談をご希望の場合は、予約をお願いいたします。
連絡先は下の「お問い合わせ」をご覧ください。

お問い合わせ

高崎市　市民部　人権男女共同参画課　たかさき里見人権プラザ
高崎市上里見町１０７２番地１　電話０２７－３４０－５１３１　ﾌｧｸｽ０２７－３７４－４７１４
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ satomi-j-plaza@city.takasaki.gunma.jp